

佐久市佐久つと支援金事業 自己評価報告書

評価日 2017年 3月 24日

団体名	東信自然史研究会		
事業名	いきものにぎわい講演会～佐久市の生物多様性地域戦略の策定に向けて～		
対象経費	130,748円	支援金額	63,000円

事業の目的・内容	目的 一般市民が、「生物多様性」「地域戦略」について学ぶことで、現在策定作業が進められている佐久市の生物多様性地域戦略へ生かせるようにしていく。
	内容 講演会の実施とそれに向けた準備等 講演者：(公財)日本自然保護協会 藤田卓氏、長野県環境保全研究所 須賀丈氏、松本市環境審議委員 宮崎敏孝氏 内容：「生物多様性」から考える私たちの暮らしを全国、長野県、佐久地域の特徴をふまえて考える。また生物多様性地域戦略を長野県で唯一作成している松本市の作成エピソード。

事業の活動実績	<p>1月15日、2月18日に主催、共催団体で講演会のPR方法、当日会場設営、進行について、検討、事前打ち合わせを行った。</p> <p>講演会日時：2月26日(日) 13:00(受付)～17:00</p> <p>場所：佐久市佐久平交流センター第5会議室</p> <p>参加者数：約80名</p> <p>講演者：(公財)日本自然保護協会 藤田卓氏、長野県環境保全研究所 須賀丈氏、松本市環境審議委員 宮崎敏孝氏</p> <p>内容：「生物多様性」と私たちの暮らし。全国的な視点から生物多様性地域戦略について、事例を交えながら説明(藤田氏)。生物多様性ながの県戦略から考える市町村戦略。佐久地域の特徴とは何か(須賀氏)。生物多様性地域戦略を長野県で唯一作成している松本市の地域戦略作成エピソードと内容(宮崎氏)</p> <p>講演後は講演内容や生物多様性についての疑問、佐久市の地域戦略策定の進行状況等について、意見交換が行われた。</p> <p>会場内では東信地域で活動する4団体の活動紹介と展示を行った。</p> <p>来場者にはアンケートを配布し、生物多様性の認知度や守りたい自然はあるか?などの設問に対し、52件の回答があった。</p>
---------	---



事業の成果・効果	<p>日常生活にはなかなかなじみのない言葉「生物多様性」「生物多様性地域戦略」。このような内容で何名の参加者があるか心配していたが、当日は高校生からシニア、住まいも東信地区を中心に北信などから80名程度の来場があり、関心の深さが見受けられた。</p> <p>講演の内容は難しい内容にもかかわらず、講師が身近な例を交えながら解説してくれたこともあり、大変理解しやすかった。生物多様性とそれを守って活かすための地域戦略の重要性については、会場にいる誰もが納得されていたと思う。会場展示では岩村田高校生物部の展示もあり、今後を担う世代の活躍も期待できた。</p> <p>市民一人一人が生物多様性について考え、活動していくことが、佐久市や他地域での地域戦略策定と実行の原動力になることがよく分かった。本講演会がそのきっかけになると幸いである。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p> <p>当初松本市職員を講師に予定していたが、市職員ではない方に来ていただいたため、講師料が1名余分に発生した。</p>
	その他、評価すべき点等	

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<p>今回の関心の高さから、地域戦略策定の際には広く市民の声を拾う仕組み(ワークショップのようなあつまり)が必要だと感じた。佐久市にもそのような機会をもうけてもらえるよう、会としても働きかけていきたい。</p> <p>アンケートの回答については集計し、今後の活動に活かしていく予定である。</p>
---------	--